

小学校 家庭科

教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

言語活動の充実

衣食住など生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解する学習活動や、自分の生活における課題を解決するために、言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

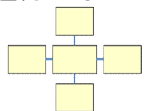
衣食住など生活の中の様々な言葉について実感を伴って理解し考える。
自分の生活における課題を解決のために言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考える。

実践的・体験的な学習から感じ取ったことを書いたり話したりするなど様々な表現様式を用いて表現する。
実生活での具体的な事象にあてはめて説明する。

観察や実習の際のレポート作成や考察、思考したことを交流し、自分とは異なる考えに接する中で整理し、考察する。

指導例 【題材名】衣服を整えよう～衣服の手入れ(洗濯)～ 第6学年

洗濯の必要性や疑問点について児童の具体的な生活経験と関連付けながら考える。



ウェビング
(拡散的思考)

汚れた靴下を、水だけで洗った場合、洗濯機で洗った場合、手洗った場合など試し洗いをして、比較し感じたことをワークシートにまとめて書く。

<書く活動>

比較してみて分かったことや考えたことを、グループで発表し合い、洗濯の必要性や適切な仕方が分かり、日常着の手入れに生かすことができる。

<目指す姿>

経験や知識を生かして、洗濯の必要性や仕方について、根拠を基に自分の考えや意見をもつ姿。

学習を通して試行した結果の比較を基に、自分なりの考えや意見を結果に基づいて表現する姿。

比較して分かったことについて、グループでの発表を通して、異なる意見を意識しながら、自分の考えを深める姿。

<十分満足>

いくつかの理由や根拠を挙げながら、洗濯について自分なりの考えや意見をもっている。

<おおむね満足>

理由を明確にして、洗濯について自分なりの思いや考えをもっている。

<努力を要する状況の手だて>

日常生活の振り返りや教科書を参考にしながら、洗濯に関して考えをもたせる。

<十分満足>

結果に基づいて論理的に自分の考えや意見を表現し、ワークシートに書いている。

<おおむね満足>

結果に基づいて、自分なりの考えと理由を書き表している。

<努力を要する状況の手だて>

教科書や結果を基にして考え、理由付けをしながら、自分の考えを表現させる。

<十分満足>

分かったことに関して考えを伝え合い、他の意見を取り入れながら、自分の考えを深めている。

<おおむね満足>

共通点・相違点を考えながら伝え合い、自分の考えを深めている。

<努力を要する状況の手だて>

自分の考えをまとめて伝え合い、友達のことを聞いて生かすようにさせる。

中学校 技術・家庭（家庭分野）

教科目標（家庭分野）

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と第度を育てる。

言語活動の充実

衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し、考察する学習活動や生活における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

衣食住など生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解し考える。
生活における課題解決のために言葉や図表、概念などを用いて生活をよりよくする方法を考える。

基礎的・基本的な知識や技能を理解し、実生活や実社会での具体的な事象にあてはめて説明する。
実践的・体験的な学習から感じ取ったことを書いたり話したりするなど様々な表現様式を用いて表現する。

衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を自分とは異なる考えに接する中で整理し、考察する。

指導例 【題材名】健康と食生活～中学生の望ましい1日の献立とは～ 第1学年

自分が何をどのくらい食べたのか、ある休日の食事調査を行い、記録した結果を基に、食品を分類し、考える。

マトリクス
(収束的思考)

日常食品の概量を一覧にした資料を基に食べた量を書き出し、表を完成させる。
作成した食事調査の結果を基に、食品群別摂取量の目安と比較し、自分の食事の特徴をワークシートにまとめて書く。

<書く活動>

それぞれの食事の特徴について、グループで意見交換し、改善点をまとめ、中学生の時期の栄養的に望ましい1日の献立について考える。

<目指す姿>

経験や知識を生かして、食品を栄養的に分類し、根拠をもとに自分の栄養の特徴について考えや意見をもつ姿。

<十分満足>

理由や根拠を挙げながら、自分の栄養の特徴について、自分なりの意見や考えをもっている。

<おおむね満足>

理由を明確にして、自分なりの思いや考えをもって自分の栄養の特徴を考えている。

<努力を要する状況の手だて>

課題の理解とともに、教科書を参考にして、自分の調査結果から栄養を関連して考えさせる。

作成した食事調査の結果を基に、食品群別摂取量の目安と比較した自分の食事の特徴について論理的に表現する姿。

<十分満足>

根拠を基に論理的に自分の栄養の特徴に関する意見や考えを表現し、ワークシートに書いている。

<おおむね満足>

書き方を工夫し、自分なりの考えと理由を書き表している。

<努力を要する状況の手だて>

教科書や表を基に考え、相手に伝わるよう順序よく理由付けて、自分の考えを表現させる。

各自の食事の特徴についてグループでの伝え合いを通して、自他の考えの違いやよさを認め合い自分の考えを深める姿。

<十分満足>

食事の特徴に関する互いの考えや意見を的確にとらえ、自分の考えや意見を深めている。

<おおむね満足>

共通点・相違点を考えながら伝え合い自分の考えを深めている。

<努力を要する状況の手だて>

自分の特徴について、伝え合う工夫や友達のよいところを見つけて生かすようにさせる。

中学校 技術・家庭科（技術分野）

教科目標（技術分野の目標）

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

言語活動の充実

ものづくりや生物育成の実習等の結果を整理し考察する学習活動や、学習課題を解決するために言葉や図表などを用いて考えたり、発表したりする学習活動

思考

発信

交流

再考

発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

目的に合わせて、ものづくりの設計や製作工程，生物の育成計画や管理計画等を考える。
目的に合わせて制御を行うためのプログラムを考える。実習等の結果を整理し考察する。

ものづくりの構想を製作図としてまとめる。また，生物育成の計画や結果をまとめる。
プログラムの構造をフローチャートとしてまとめる。
実習等の結果をまとめる。

ものづくりの構想や製作図，生物の育成計画について，課題を解決するための話し合いをする。
実習等のまとめや，技術の適切な評価・活用について話し合いや発表会をする。

指導例【題材名】栽培の育成結果を発表しよう（デジタル作品の設計・制作） 第2学年

育成計画と記録を基に，発表に必要な情報を整理する。
作品の制作に必要なメディア，ソフトウェア，機器と表現方法を考える。また，作品の構造や構成を考える。

発表する作品の構成図を作成する。
文字，音声，静止画，動画など，必要なメディアを利用し，プレゼンテーションソフト等で作品を制作する。

発表会をとおして，育成計画，予想，結果，考察など，発表したい内容を分かりやすく伝えるための課題について話し合う。
また，著作権，肖像権等について考える。

<目指す姿>

理由や根拠を基にデータを整理し，発表会で伝えたい内容や方法について，メディアの特性やソフトウェアの機能を踏まえて考えようとする姿。

論理的に考えて構成図を作成するとともに，複数のメディアやソフトウェアの機能を活用して作品を制作しようとする姿。

発表会や話し合いを通して，共通点や相違点，課題や解決策を主体的に考えるとともに，自分の考えや作品に生かそうとする姿。

<十分満足>

発表に必要な記録を分類，精選し，メディアの特徴とソフトウェアの機能を踏まえて作品の設計を考えることができる。

<おおむね満足>

発表に必要な記録，メディア，ソフトウェアを選択して作品の設計を考えることができる。

<努力を要する状況の手だて>

記録の選び方と，メディアの特徴やソフトウェアの機能を踏まえた設計のポイントを助言する。

<十分満足>

全体構成が分かりやすく，複数のメディアやソフトウェアの機能を効果的に活用した作品の作成ができる。

<おおむね満足>

文字と静止画のバランスを考え，基本的な機能を活用した作品の制作ができる。

<努力を要する状況の手だて>

メディアの扱い方，ソフトウェアの基本機能，表現のポイントについて再指導する。

<十分満足>

メディアの特性やソフトウェアの機能，情報モラルを基に，表現方法の工夫や課題，改善策を考えることができる。

<おおむね満足>

基本的な機能を基に，表現方法の工夫や課題，改善策を考えることができる。

<努力を要する状況の手だて>

抽出した作品を提示し，作品の工夫点と使用した機能について解説する。